

「ブルーインパルス」VR体験に小学生が大興奮！

自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 小田桐一陸尉）は、10月21日（日）大磯プリンスホテルプールセンター（大磯町）において、大磯町の小学生を対象に「ぶちおおいそ」の職業体験支援を実施した。

「ぶちおおいそ」は、大磯町にある町立大磯小学校・町立国府小学校・学校法人聖スパテノ学園の3校を対象にした職業体験が出来るイベントであり、警察署や消防署をはじめ、大磯町ならではの飲食店から一般企業まで魅力あふれる計42社が参加した。

当日は、500名以上の生徒・保護者・関係者が集まり、各職業体験ブースは行列になるほどの賑わいをみせた。

自衛隊の職業体験として、VR体験、災害派遣時に使用する人命救助システム器材の取り扱い方を体験させた。「ブルーインパルス」VR体験は初体験の小学生がほとんどで、実際に「ブルーインパルス」を操縦している感覚に大興奮していた。人命救助システムの取り扱いでは小学生とその保護者達が、スプレッター、油圧式カッター、破壊構造物探索機等の説明を真剣に聴く姿が印象的であった。

参加者からは「このスプレッターが災害派遣で実際に活躍していることを初めて知りました」「ブルーインパルス格好良かった！自分が操縦しているみたいでとても楽しかった」等、目を輝かせて話してくれた。

また、中嶋大磯町長から感謝の御言葉を頂き、横井実行委員長より感謝状を頂いた。

平塚地域事務所では「地域に密着した広報活動を行い、関係部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、今後の募集広報に繋げていく」としている。



人命救助システム器材の説明受けの隣にてVR体験中！

小田原城北工業高等学校母校訪問について

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、10月26日（金）小田原市にある神奈川県立小田原城北工業高等学校へ平成30年3月に同校を卒業し、現東部方面後方支援隊富士教育直接支援大隊車両整備隊に所属する井上圭太2陸士と担当広報官（原田2陸曹）による母校訪問を行った。

当日は、副校長、当時の担任、部活（自動車部）顧問及び進路指導担当の先生方等に対して、井上2陸士が教育隊での訓練に関して「入隊当初は走るのが遅かったが、今では少し早いグループで走れるようになった」とのエピソードや、車両整備隊としてのどのような自衛隊車両の整備を行っているか等の近況報告をすとも自衛官募集の説明を実施した。

制服姿の井上2陸士の姿を見た、担任及び部活顧問の先生からは、驚きの声と凛々しい制服姿に対して喜びの声や「来年の就職説明会で井上君に話をして貰いたい」と、今後の募集に繋がる意見を聞くことができた。

井上2陸士は、先生等との懇談の後、校内を巡回し後輩に対し声を掛けたり、一緒に写真を撮ったり、広報活動を積極的に実施しながら、「このような母校訪問による募集広報活動や隊員自主募集を積極的に実施していきたい」と熱く語ってくれた。

小田原地域事務所は、「今後も、母校訪問等を実施し、西湘地区の学校に対し自衛隊を理解、周知し、自衛官募集に繋げていきたい」と意欲を語った。



先生方と母校にて撮影する井上2陸士（写真：中央）